



ARIB TR-B38

VHF-Low帯に適用する
セグメント連結伝送方式による
地上マルチメディア放送運用規定

OPERATIONAL GUIDELINES FOR
TERRESTRIAL MOBILE MULTIMEDIA BROADCASTING BY
TRANSMISSION SYSTEM BASED ON CONNECTED SEGMENTS
FOR VHF-LOW BAND

技 術 資 料

ARIB TECHNICAL REPORT

ARIB TR-B38 1.3版
(第一分冊)

2016年 3月25日	策 定
2017年 3月24日	1. 1 改定
2017年 7月27日	1. 2 改定
2019年 7月30日	1. 3 改定

一般社団法人 電 波 産 業 会

Association of Radio Industries and Businesses

まえがき

一般社団法人電波産業会は、無線機器製造者、電気通信事業者、放送機器製造者、放送事業者及び利用者の参加を得て、各種の電波利用システムに関する無線設備の標準的な仕様等の基本的な要件を「標準規格」として策定している。

「技術資料」は、国が定める技術規準と民間の任意基準を取りまとめて策定される標準規格を踏まえて、無線設備、放送設備の適性品質、互換性の確保等を図るため、当該設備に関する測定法、解説、運用上の留意事項等を具体的に定めたものである。

本技術資料は、99MHz 以上 108MHz 以下の周波数の電波（VHF-Low 帯）を使用する地上基幹放送局を用いて行うセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定について策定されたもので、策定段階における公正性及び透明性を確保するため、内外無差別に広く無線機器製造者、電気通信事業者、放送機器製造者、放送事業者及び利用者の利害関係者の参加を得た当会の規格会議の総意により策定されたものである。

本技術資料が、無線機器製造者、電気通信事業者、放送機器製造者、放送事業者及び利用者に積極的に活用されることを希望する。

総合目次

第零編	V-Low マルチメディア放送の基本概念と共通事項	第一分冊
第一編	マルチメディア放送受信機機能仕様書	第一分冊
第二編	マルチメディア放送マルチメディア符号化規定	第一分冊
第三編	マルチメディア放送 PSI/SI 運用規定	第一分冊
第四編	アクセス制御方式運用規定及び受信機仕様	第一分冊
第五編	マルチメディア放送送出運用規定	第二分冊
第六編	マルチメディア放送コンテンツ保護規定	第二分冊
第七編	マルチメディア放送メタデータ運用規定	第二分冊
第八編	マルチメディア放送蓄積型放送の運用	第二分冊
第九編	マルチメディア放送地域の防災又は安全に関する情報の運用規定	第二分冊

第零編

マルチメディア放送 送出運用規定

目次

第1章 一般事項.....	1
1.1 はじめに.....	1
第2章 サービス概要.....	3
2.1 V-Low マルチメディア放送.....	3
2.2 放送種別.....	3
2.2.1 リアルタイム型放送.....	3
2.2.2 蓄積型放送.....	3
2.3 利用帯域.....	3
2.4 周波数帯域の利用イメージ.....	5
2.5 システム概念図.....	5
2.6 コンテンツ種別.....	6
2.6.1 リアルタイム型放送のコンテンツ種別.....	6
2.6.2 蓄積型放送のコンテンツ種別.....	6
第3章 技術方式とサービスタイプ.....	7
3.1 技術方式.....	7
3.1.1 リアルタイム型放送.....	7
3.1.2 蓄積型放送.....	7
3.2 サービス種別.....	8
3.3 サービスタイプ.....	8
3.3.1 リアルタイム型放送.....	8
3.3.2 蓄積型放送.....	9
第4章 アクセス制御方式.....	11
第5章 ネットワークの利用.....	13
5.1 マルチメディア放送受信機におけるネットワーク利用の基本原則.....	13
5.1.1 ライセンス及び鍵の発行.....	13
第6章 マルチメディア放送受信機.....	15
6.1 マルチメディア放送受信機.....	15
第7章 マルチメディア放送における EPG、ECG、ETG.....	17
7.1 EPG、ECG の考え方.....	17
7.2 SI とメタデータの役割分担.....	17
7.3 ETG の考え方.....	17
第8章 コンテンツ保護.....	19
8.1 マルチメディア放送におけるコンテンツ保護の基本的な考え方.....	19

8.2 リムーバブル記録媒体へのデジタル記録.....	19
8.3 階層伝送.....	19
第9章 本技術資料の説明	21
9.1 本技術資料の構成.....	21
9.2 引用文書.....	22
第10章 運用するパラメータ	23
10.1 運用する階層構成と使用パラメータ	23
10.2 物理層運用パラメータ	23
10.3 連結送信とセグメント構成	23
10.4 階層伝送の運用に応じた使用パラメータ	24
10.5 リアルタイム型放送における情報源符号化方式	24
10.5.1 映像符号化方式.....	24
10.5.2 音声符号化方式.....	24
10.6 蓄積型放送における情報源符号化方式.....	25
10.6.1 映像符号化方式.....	25
10.6.2 音声符号化方式.....	25

第一編

マルチメディア放送 受信機機能仕様書

目次

第1章 一般事項.....	1
1.1 はじめに	1
1.2 引用文書	4
1.3 用語	4
第2章 前提システム.....	7
第3章 受信機プロファイル	9
3.1 標準受信機（スマートフォン、カーナビなど）	9
3.2 簡易受信機.....	9
3.3 事業者独自データ受信機	9
第4章 ユーザーインタフェース要求事項.....	11
4.1 時刻管理	11
4.2 初期設定	11
4.2.1 スキャン.....	11
4.2.2 受信機の機能	12
4.2.3 ユーザー設定	12
4.3 リアルタイム型放送受信機能	13
4.3.1 限定受信サービス	13
4.3.2 ES 切り替え.....	13
4.3.3 データ放送サービスの受信	13
4.4 蓄積型放送受信機能	14
4.4.1 蓄積機能.....	15
4.4.2 コンテンツ削除.....	16
4.4.3 メタデータ蓄積.....	16
4.5 コンテンツナビゲーション.....	17
4.5.1 EPG	17
4.5.2 ECG.....	18
4.6 番組選局	20
4.6.1 選局方法.....	20
4.6.2 選局時及び選局後の情報表示について	20
4.6.3 選局後のコンテンツ提示について	21
4.7 予約機能	21
4.7.1 予約方法.....	21
4.8 蓄積型放送コンテンツ再生機能	21

4.9 蓄積型放送コンテンツ利用・操作機能.....	22
4.10 プレビュー機能	22
4.11 契約情報管理機能.....	22
4.12 決済機能.....	22
4.13 その他機能.....	22
4.13.1 Web ブラウジング連携機能.....	22
4.13.2 メール連携機能.....	23
4.13.3 位置情報連携機能	23
4.14 コンテンツ保護機能	23
4.15 種々の放送形態への対応	24
4.15.1 緊急警報放送(EWS)受信.....	24
4.15.2 日本国外での機能制限	25
4.16 メッセージ.....	25
第5章 ハードウェア・ソフトウェア要求事項	29
5.1 フロントエンド	29
5.2 TS デコーダ	29
5.3 映像復号処理及び出力.....	29
5.4 音声復号処理及び出力.....	29
5.5 メモリ	29
5.5.1 RAM.....	29
5.5.2 NVRAM.....	30
5.6 文字フォント	30
5.6.1 データ放送サービス.....	30
5.6.2 EPG/ECG	30
5.7 受信機内蔵音	30
5.8 高速デジタルインタフェース	30
5.9 リムーバブルメディア	30
5.10 コピー制御.....	30
5.10.1 アナログ映像出力	30
5.10.2 デジタル音声出力	31
5.10.3 高速デジタルインタフェース出力	31
5.10.4 デジタル映像音声出力	31
5.11 ダウンロード	31
5.12 その他.....	31
5.12.1 各種画面表示の優先順位.....	31

5.12.2 電源スタンバイ時の処理.....	31
5.12.3 リセットボタン	32
5.12.4 デジタル映像音声出力端子	32
付録 1 端末記録時のフォーマットについて	33
1 記録の対象とするパケットについて	33
1.1 PES パケット	33
1.2 データ放送パケット	33
1.3 蓄積放送用コンテンツ	33
1.4 PSI/SI	33
1.5 その他	33
付録 2 受信機の仕様.....	35
1 入力	35
2 中間周波数.....	37
3 受信周波数同期範囲	37
4 受信クロック同期範囲.....	37
5 チューナー部の特性	37
6 フロントエンド信号処理	38
付録 3 受信性能についてのガイドライン	39
解説 1 放送番組及びコンテンツ一意性の確保	41
解説 2 SI 情報の受信機における利用機能に関する制限事項.....	43
解説 3 MPEG-2 AAC 方式の実装に係わる留意点	45
解説 4 チャンネルリストとスキャンについて	47
参考 1 EPG, ECG の作成ガイドライン	49
1 番組選局	49
1.1 リアルタイム型放送サービスの選局.....	49
1.2 蓄積型放送サービスの選局	49
2 マルチメディア放送における EPG と録画予約.....	49
2.1 EPG 基本機能.....	49
2.2 EPG から関連サイトへの接続.....	49
2.3 リアルタイム型放送コンテンツの録画予約	49
2.4 自動録画予約	50
2.5 予約時の録画容量確保	50
2.6 録画予約の確認と予約の再設定	50
3 録音・録画機能	50
3.1 リアルタイム型放送コンテンツの受信機内での管理.....	50

3.2 予約録画の実行	50
4 ECG	52
4.1 ECG を構成する各種情報の管理	52
4.2 ECG の表示	53
4.3 蓄積可否の判断	54
4.4 ECG による蓄積型放送コンテンツの蓄積予約	54
4.5 サービス申し込み・解約	55
4.6 ECG からのコンテンツ起動	55
5 ライセンス関連情報	55
5.1 リアルタイム型放送コンテンツのライセンス情報	56
5.2 ファイルコンテンツのライセンス情報	56
6 コンテンツの再生	56
6.1 蓄積コンテンツの起動処理	56
6.2 トリックプレイ時の再生制限制御	56
7 蓄積コンテンツ操作	56
7.1 蓄積コンテンツの削除	56
8 メタデータに対する機能要件	58
参考 2 受信機の保存パスのガイドライン	59
1 受信機内の蓄積コンテンツのパス	59
1.1 受信アプリ内蓄積型コンテンツベースパス	59
1.2 素材毎の相対パス	60

第二編

マルチメディア放送 マルチメディア符号化規定

目次

第1章 一般事項.....	1
1.1 はじめに	1
1.2 本編で定める運用規定について	1
1.2.1 プロファイル	1
1.2.2 基本機能とオプション機能	1
1.3 引用文書	1
1.4 用語 (T.B.D.)	2
第2章 基本受信機の備えるべき機能.....	7
2.1 受信機の構成	7
2.1.1 ハードウェア構成	7
2.1.2 受信機レファレンスモデル	8
2.2 提示機能	8
2.2.1 受信機の提示手法	8
2.2.2 表示画面を構成する各プレーンの解像度・制約事項.....	9
2.2.3 表示系モノメディア符号化	10
2.2.4 音声再生機能	11
2.2.5 フォント.....	11
2.2.6 音声合成機能	11
2.3 ボタン	12
2.3.1 VL プロファイルの受信で用いるキー	12
2.4 受信機の装備すべきメモリ	14
2.5 通信機能	14
2.6 文字入力機能	14
2.7 即時提示型蓄積型放送ブラウザ	15
2.7.1 ブラウザ独自表示	15
2.7.2 通信コンテンツの表示	15
第3章 蓄積型放送サービスの運用	17
3.1 データ伝送方式の運用	17
3.2 メディア符号化の運用	17
3.2.1 映像符号化	17
3.2.2 静止画及びビットマップ図形符号化.....	19
3.2.3 音声符号化	20
3.2.4 ファイルフォーマット	21

3.2.5 その他符号化	24
3.2.6 メディア型	24
3.2.7 蓄積型放送におけるコンテンツの分類	24
3.3 マニフェストファイルの運用	26
3.4 マルチメディア符号化の運用	26
3.4.1 HTML バージョンの運用	26
3.4.2 文字符号の運用	26
3.4.3 メディア型とモノメディアの運用範囲	26
3.4.4 HTML 要素の運用	26
3.4.5 CSS の運用	40
3.4.6 DOM の運用範囲	46
3.4.7 HTML5 仕様における DOM インターフェース	55
3.4.8 組み込みオブジェクトの運用範囲	55
3.4.9 拡張オブジェクトの運用	61
3.4.10 通信サービス上の HTML コンテンツを閲覧する際の機能制限	72
3.5 即時提示型蓄積型放送の運用	74
3.5.1 即時提示型蓄積型放送の伝送運用	74
3.5.2 受信機動作	75
3.5.3 制御情報の符号化	76
第 4 章 蓄積型コンテンツの再生動作に関するガイドライン	79
4.1 提示に関するガイドライン	79
4.1.1 即時提示型蓄積型放送ブラウザによる映像/音声コンテンツの提示	79
4.1.2 通信コンテンツの提示に関する規定	79
4.1.3 コンテンツ制作上のガイドライン	80
4.1.4 DOM の動作に関するガイドライン	80
4.2 コンテンツの参照と名前空間	80
4.3 コンテンツの遷移やブラウザの起動について	80
4.3.1 HTML ブラウザコンテンツへの遷移	81
4.3.2 蓄積型コンテンツ間の遷移	82
4.3.3 異なるコンテンツ参照識別子を有する蓄積型コンテンツへの遷移	82
付録 1 蓄積型コンテンツ圧縮フォーマット	83
付録 2 デフォルトスタイルシート	85
付録 3 管理団体	87
付録 4 キャッシュ機能、URI 履歴に関するガイドライン	89
1 受信機機能によるキャッシュ機能	89

付録 5 通信機能の詳細	91
1 メソッドの運用	91
2 HTTP/1.1 の運用	91
3 セキュリティ	92
付録 6 メディアスキーム	93
1 メディアスキームの構文	93
2 メディアスキームの記述方法	94
3 対応オプションパラメータ	94
4 アンカー切り出し・テキスト切り出し条件	94
5 HTML (XTTML) 対象タグ	95
6 ECG への遷移について	95
7 選択時の動作	95
8 注意事項	97
付録 7 事業者独自データの運用ガイドライン	99
1 定義	99
2 送出運用	99
2.1 データ符号化	99
2.2 データ伝送方式	99
2.3 独立したサービスとしての運用	100
2.3.1 service_id の運用	100
2.3.2 PSI テーブルの運用	100
2.3.3 SI テーブルの運用	100
2.4 標準サービス内のコンポーネントの一部を事業者独自データ送出	100
2.4.1 service_id の運用	100
2.4.2 PSI テーブルの運用	100
2.4.3 SI テーブルの運用	100

第三編

マルチメディア放送 PSI/SI 運用規定

目 次

第1章 一般事項.....	1
1.1 まえがき	1
1.2 目的	1
1.3 適用範囲	1
1.4 引用文書	1
1.5 用語	2
第2章 文字列の符号化.....	11
第3章 文字セット	13
第4章 制御符号.....	15
第5章 初期化	17
第6章 外字運用.....	19
第7章 文字列の最大長.....	21
第8章 テーブル／記述子の定義.....	23
第9章 テーブルの種類と識別	25
第10章 記述子の種類と識別.....	29
第11章 識別子の運用.....	33
第12章 テーブル共通項目の運用.....	35
12.1 version_number の運用	35
12.2 current_next_indicator の運用.....	35
12.3 running_status の運用	35
12.4 reserved 及び reserved_future_use 項目の運用	35
12.5 スクランブル	35
第13章 SI 情報変更	37
第14章 サービス・イベントの定義	39
14.1 サービス及びサービスタイプの定義	39
14.2 イベントの定義	39
14.2.1 event_id の再使用について（時間方向の一意性）	40
14.2.2 蓄積型サービスにおける event_id の再利用について（時間方向の一意性）	41
14.3 ローカルイベントの定義	42
14.3.1 local_event_id の再使用について（時間方向の一意性）	42
第15章 マルチメディア放送の送出モデルとマルチメディア放送ブロードキャスト 及び IPプラットフォーム	43
15.1 ネットワークの単位	43

15.2 メディアタイプ	44
15.3 マルチメディア放送ブロードキャストの運用	44
15.4 マルチメディア放送ブロードキャストのグループ運用	48
第 16 章 共通運用 SI と個別運用 SI	51
16.1 全局 SI と各局 SI の概念	51
16.2 全局 SI	51
16.3 全局 SI で運用するテーブルと記述子	52
16.4 各局 SI で運用するテーブルと記述子	56
第 17 章 TS パケット化と伝送規則	59
17.1 TS パケットへのセクション配置規則詳細	59
17.1.1 マルチセクション伝送	60
17.2 TS パケット伝送詳細	61
17.3 連続性指標	62
第 18 章 テーブル（セクション）伝送運用	63
18.1 セクションの分割	63
18.2 セクションへの記述子の配置	63
18.3 周期グループの定義と再送周期	63
18.3.1 PSI の周期グループ	64
18.3.2 全局伝送パラメータにおける周期グループ	64
18.3.3 各局伝送パラメータにおける周期グループ	65
18.4 周期変更とデフォルト再送周期	65
18.4.1 PSI の再送周期	66
18.4.2 全局伝送パラメータの周期変更可能範囲とデフォルトパラメータ	66
18.4.3 各局伝送パラメータの周期変更可能範囲と参考パラメータ	67
18.5 周期調整	67
18.6 セクション単位での伝送間隔	67
18.7 周期グループ内での SI 伝送詳細	68
18.8 サブテーブルの更新規則	69
18.9 各テーブルの更新	70
第 19 章 蓄積制御の考え方	71
第 20 章 EIT 送出運用	73
20.1 EIT 関連用語の定義及び EIT 送出運用の骨子	73
20.1.1 actual と other の区別	73
20.1.2 共通運用 EIT	73
20.1.3 個別運用 EIT	73

20.1.4 サービス階層	73
20.1.5 EPG 画面タイプ	73
20.1.6 M-EIT/L-EIT	74
20.1.7 本編（第三編）中で用いられている EIT 呼称の定義.....	75
20.1.8 3 セグメント受信機	75
20.1.9 1 セグメント受信機	75
20.1.10 基本ターゲット受信機	75
20.1.11 全局伝送パラメータ	76
20.1.12 各局伝送パラメータ	76
20.1.13 基本送出 EIT 種.....	77
20.1.14 拡張送出 EIT 種.....	77
20.1.15 サービスのパターンと PMT 構成および送出される EIT 種.....	77
20.1.16 EIT 種別送出フラグ	80
20.2 共通運用 EIT と個別運用 EIT.....	80
20.2.1 共通運用 EIT	80
20.2.2 個別運用 EIT	80
20.3 EIT 送出運用のおおまかな概念	82
20.4 EIT 送出モデル	83
20.5 全局／各局伝送パラメータおよび送出 EIT 種送出有無の受信機への伝達方法.....	85
20.5.1 全局伝送パラメータの受信機への伝達	85
20.5.2 各局伝送パラメータの受信機への伝達	85
20.5.3 基本送出 EIT 種の送出の有無の受信機への伝達.....	85
20.6 service_type 別の EIT 送出レベル	86
20.6.1 共通運用 EIT（基本送出 EIT 種の全局伝送パラメータ部分）	86
20.6.2 個別運用 EIT	86
20.7 設備整備上の都合から EIT を送出しないサービス.....	86
20.8 SDT の EIT_present_following_flag の付与の仕方.....	86
20.8.1 EIT_present_following_flag	86
20.8.2 EIT 送出パターンごとの SDT の EIT_present_following_flag の付与.....	87
20.9 EIT セクションを伝送する TS パケットの PID.....	87
20.10 EIT セクションの table_id	87
20.11 M-EIT/L-EIT の詳細送出運用	87
20.11.1 M-EIT の役割と特徴.....	87
20.11.2 L-EIT の役割と特徴.....	88
20.11.3 M-EIT/L-EIT のサブテーブル構成と表現形式の定義.....	88

20.11.4 M-EIT／L-EIT の詳細送出運用	91
20.12 EIT の周期グループ設定	94
20.12.1 M-EIT の周期グループ設定（グループ番号 1、2）	95
20.12.2 L-EIT の周期グループ設定（グループ番号 3、4）	96
20.12.3 各伝送パラメータの BIT への記載方法	97
20.12.4 周期グループ設定のまとめ	99
20.13 EIT における table_id と section_number の割当て	100
20.13.1 M-EIT	100
20.13.2 L-EIT	100
20.13.3 M-EIT[p/f after]、L-EIT[p/f after] のイベント情報のセクションマッピング方法 ..	101
20.14 時間経過に伴う M-EIT／L-EIT の送出運用	101
第 21 章 LIT 送出運用	103
21.1 LIT を用いたローカルイベント記述の概要	103
21.1.1 actual と other の区別	103
21.1.2 LIT とローカルイベント	103
21.1.3 LIT を用いたローカルイベント記述	104
21.1.4 番組終了後も存在する素材の記述について	105
21.2 LIT の生成・送出規定	106
21.2.1 はじめに	106
21.2.2 共通運用 SI としての LIT	106
21.2.3 LIT を送出すべき EIT	106
21.2.4 送出 LIT の先行切替	106
21.2.5 LIT の生成	107
21.2.6 LIT の送出	109
21.2.7 動的変更 LIT とその割込み送出	110
第 22 章 component_tag の運用	113
22.1 component_tag と PID の考え方	113
22.2 component_tag 値の割当て	113
22.2.1 ES の優先順位	114
22.3 PID の割り当て	114
第 23 章 サービスの放送中／放送休止の定義	115
第 24 章 時間情報の運用	117
24.1 TOT と番組提示の関係及び遅延について	117
24.2 SI 中で符号化される日付／時間情報	117
24.3 2038 年以降の MJD について	118

第 25 章 イベント共有.....	119
第 26 章 タイムライン告知の運用.....	121
26.1 使用する記述子	121
26.2 値の付与	121
26.2.1 基本ローカルイベント記述子	121
26.2.2 素材情報記述子.....	121
26.3 タイムライン告知の終了	122
26.4 タイムライン告知の運用	122
26.4.1 複数ローカルイベントの送出	122
26.5 運用の例.....	122
26.5.1 タイムライン告知の例	122
第 27 章 イベント編成変更	125
27.1 未定状態.....	125
27.1.1 未定イベント	125
27.1.2 未定時刻	125
27.2 イベント編成変更に関する原則	125
27.3 イベント進行状態に関する基本的な約束事	126
27.4 EIT 間の整合性	127
27.5 イベント編成変更送出ガイドライン	128
27.5.1 イベント延長	128
27.5.2 イベント早終	128
27.5.3 イベント繰り下げ	128
27.5.4 イベント中断	129
27.5.5 イベント割り込み	129
27.6 イベント編成変更運用例.....	130
27.6.1 イベント延長の場合.....	130
27.6.2 イベント早終時.....	133
27.6.3 イベント変更時.....	135
27.6.4 番組割り込み(1).....	137
27.6.5 番組割り込み(2).....	139
27.6.6 番組割り込み(3).....	141
第 28 章 限定受信.....	143
第 29 章 デジタルコピー制御.....	145
29.1 コピー制御情報の優先順位	145
29.2 デジタルコピー制御情報のデフォルト.....	146

29.3 最大伝送レート情報	146
29.3.1 最大伝送レートが記載されない場合のビットレートの最大値	146
29.4 コピー制御情報の変更	147
29.5 コンテンツの出力保護	148
29.5.1 出力保護のデフォルト	148
29.5.2 出力保護の運用	148
29.6 コンテンツの一時蓄積	148
29.7 各出力端子の出力制御	149
29.8 個数制限コピー	149
第 30 章 3 セグメント送信時の PSI/SI の運用	151
30.1 PSI/SI の送出運用	151
30.1.1 PMT の送出運用	152
30.1.2 サービスグループ	153
第 31 章 連結送信時の PSI/SI の運用	155
第 32 章 臨時サービス・イベントリレー	157
第 33 章 緊急警報放送(EWS)の運用	159
33.1 EWS の送出	159
33.2 TMCC 緊急警報放送用起動フラグの扱い	159
33.3 緊急情報記述子の多重位置	159
33.4 緊急情報記述子の多重タイミング及び記載期間	159
第 34 章 緊急警報放送試験信号運用	161
第 35 章 字幕・文字スーパーの運用	163
第 36 章 サマータイム運用	165
36.1 ローカル時間オフセット記述子の運用	165
第 37 章 サービス構成、階層の変更	167
37.1 サービスの追加・削除	167
37.2 サービス階層の変更	168
第 38 章 PSI テーブルの運用	169
38.1 PAT(Program Association Table)	169
38.1.1 PAT の構造および運用	169
38.2 CAT(Conditional Access Table)	171
38.3 PMT(Program Map Table)	172
38.3.1 PMT の構造および運用	172
38.3.2 PMT 第 1 ループ（プログラムループ）に挿入する記述子	175
38.3.3 PMT 第 2 ループ（ES ループ）に挿入する記述子	184

38.4 NIT (Network Information Table)	191
38.4.1 NIT の構造および運用	191
38.4.2 NIT 第 1 ループ (ネットワークループ) に挿入する記述子	194
38.4.3 NIT 第 2 ループ (TS ループ) に挿入する記述子	197
第 39 章 SI テーブルの運用	211
39.1 BIT(Broadcaster Information Table).....	211
39.1.1 BIT の構造および運用	211
39.1.2 BIT 第 1 ループに挿入する記述子	215
39.1.3 BIT 第 2 ループ(ブロードキャストループ)に挿入する記述子	222
39.2 SDT(Service Description Table)	232
39.2.1 SDT の構造および運用	232
39.2.2 SDT (サービسلープ) に挿入する記述子.....	235
39.3 EIT(Event Information Table).....	241
39.3.1 EIT の構造	241
39.3.2 EIT (イベントループ) に挿入する記述子.....	245
39.4 TOT(Time Offset Table).....	256
39.4.1 TOT の構造および運用	256
39.4.2 TOT に挿入する記述子.....	258
39.5 AMT (Address Map Table)	260
39.5.1 AMT の構造および運用	260
39.6 ST(Stuffing Table).....	263
39.6.1 ST の構造および運用	263
39.7 各テーブル内で定義されない記述子	264
39.7.1 スタッ記述子.....	264
39.8 LIT (Local Event Information Table)	266
39.8.1 LIT の構造	266
39.8.2 LIT (イベントループ) に挿入する記述子	269
付録 1 ネットワーク名、TS 名、サービス名の使用基準.....	279
付録 2 SI 中で用いる文字セット.....	281
1 JIS 第 3,4 水準の運用について	281
2 JIS 互換漢字 1 面 (2 バイト符号表)	281
3 JIS 互換漢字 2 面 (2 バイト符号表)	281
4 追加記号(2 バイト符号表).....	281

第四編

アクセス制御方式運用規定 及び受信機仕様